

活動報告

団体名	SPF（佐賀災害支援プラットフォーム）
活動名	令和元年8月九州豪雨被災地直接支援および中間支援に係る事業
活動期間	2019/08/28～2019/9/30
活動の成果	<p>発災後すぐに情報共有会議（葉隠会議）を開催し、団体および行政、社会福祉協議会の持つ情報を集約・共有しました。発災直後は毎日のように行っており、最終的に16回開催することができました。また全体の共有会議だけでなく、地域ごとの細かなニーズに応えるべく、情報共有会議を小城市では7回、大町町では17回行いました。特に大町町では、町役場も地域住民のニーズの把握をしたいとのことで他団体と連携し40件ほど自宅調査を行いました。これにより行政が把握しにくい小さなニーズなどもわかってきました。また住民の不安ごとなど傾聴ボランティアにも繋がりました。県内ネットワークの強みを活かし、県外の支援団体、行政等の窓口を担うことで地域の方々の混乱などを避けることもできました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様のご支援大変ありがとうございました。佐賀は災害が少ない県と言われていましたが、昨今の気候変動の影響もあり、これまで体験したことのない災害に見舞われました。多くの地域の方々が初めての経験であり、どうすればいいのか、また私たちもどう動いていけばいいのか模索している時に、いただいたご寄付は大変有難いものでした。直接支援、間接支援など様々な支援があるかと思いますが、どの支援であっても繋がっているという感覚は同じものであり、私たち含め地域の方々に勇気を与えていただきました。被災地はまだ完全復興には遠い道のりですが災害をきっかけに行政や地域、団体が同じ方向に向くことをできたのではないかと考えております。誰ひとり困った人や取り残された人がいなくなるまで様々な団体と連携して引き続き活動を行っていきます。</p>

（活動のようす）

